



2017年度 芸術学部美術学科 卒業
浜元 祐佳
「記憶に溺れる」(油絵)
(162x112cm)
2017年度 卒業制作
卒業制作優秀作品、芸術資料館買上作品

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>

入寮対象者

国際交流や外国人学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生（日本人研究生及び科目等履修生を除く）、海外学術交流協定大学からの特別聴講学生が対象です。なお、自宅の所在地や経済状況に関わらず、学部在学生・大学院生に入寮いただけます。

入寮期間

日本人学生：1年間、外国人留学生・研究生：2年間、特別聴講学生：半年または1年間
※学生役職者になった入居者は、入居期間を1年間延長することができます。

使用料（寮費）

月額2万円です。※光熱水費等は実費徴収

寮生活をリードする学生役職者の設置

寮生が楽しく快適な寮生活を送ることができるよう、先輩学生として寮生活あるいは大学生活における寮生のさまざまな相談に親身になってのるとともに、寮生を取りまとめて自律的な寮運営をリードする学生役職者を設置しています。

寮全体を取りまとめるレジデント・リーダー、フロアを取りまとめるフロア・リーダー、ユニットを取りまとめるユニット・リーダーが、寮生活をバックアップします。

私たち学生役職者がサポートします!!



1 国際学生寮「さくら」



寮教育

国際学生寮は、居住機能に加え、教育的な視点も取り入れた学生寮です。人材育成コンセプトに示す人材育成を実現するため、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施していきます。

教育プログラム

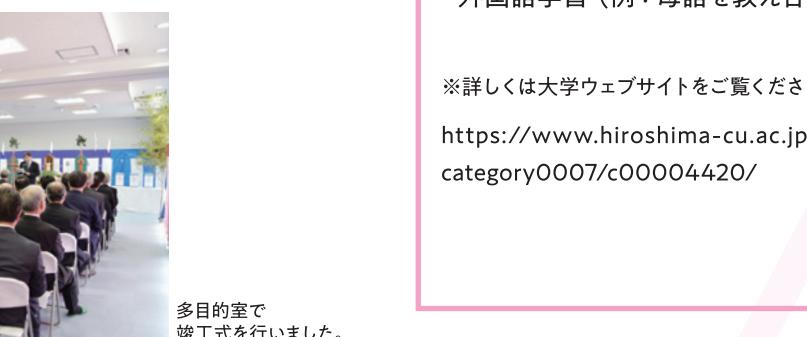
【日常生活の中で自主的に身につける「隠れた教育」の実施】

- ・日本人学生と外国人留学生との共同生活
- ・日常会話における母語以外の語学学習
- ・国際学生寮生活規則遵守による秩序ある寮内生活
- ・各種寮内会議による自律的な寮運営
- ・寮運営・交流プログラム等の企画及び積極的な参加など

交流プログラム

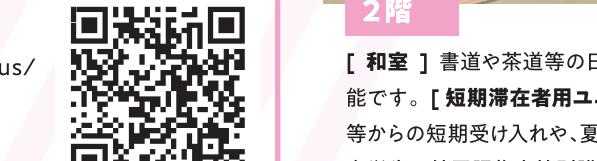
【寮生・寮外学生・地域との交流】

- ・歓迎会・送別会
- ・異文化交流・国際理解
(例: 各国の料理パーティー、国別の催し事など)
- ・日本文化理解
(例: お花見・節分などの季節行事、茶道・書道などの文化体験)
- ・外国语学習 (例: 母語を教え合うピアティーチング) など



※詳しくは大学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0007/c00004420/>



多目的室で竣工式を行いました。

私たち学生役職者がサポートします!!



1-1



1階

エントランスロビー

【エントランスロビー】寮生の交流と憩いの場として、エントランスロビーを設けています。【多目的室】講演会イベント・研修会・会議など幅広い用途で利用できます。間仕切りにより3つに分割可能です。【共用キッチン】各種イベントや寮生が共同で使えるキッチンです。【管理人室】管理人は6時から22時まで常駐しています。

1-2



2階

和室

【和室】書道や茶道等の日本文化体験のほか、さまざまな用途として利用可能です。【短期滞在者用ユニット】(2ユニット 20人) 海外学術交流協定大学等からの短期受け入れや、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」のほか、在学生の外国語集中特別講義などに活用できます。

1-3



3-6階

【長期滞在者用ユニット】(16ユニット 96人) 日本人学生・外国人留学生計6人で1つのユニットを構成します。(個室部分6室): ベッド、机などがあります。(共用部分): キッチン、トイレ、シャワー、洗濯機、冷蔵庫などがあります。【交流スペース】3~6階の各フロアにあり、各種会議やミーティングなどに使用できます。

2

広島市立大学塾(市大塾)

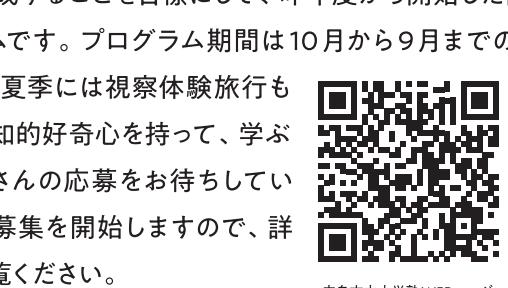


1階

沖縄研修で訪れた嘉数高台の展望台

「広島市立大学塾」は、広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、また体験することを通じて、自ら考え、判断し、行動する力を養い、社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーを育成することを目標にして、昨年度から開始した課外教育プログラムです。プログラム期間は10月から9月までの1年間です。春季、夏季には視察体験旅行も予定しています。

2-1



広島市立大学塾WEBページ

塾生 国際学部1年 可知 宗頼さん

私は市大塾の1期生として、このプログラムに参加しました。週1回という少ない時間であるため、他の授業や課題の負担になることもなく、専門家におしえいただき多方面に渡る分野について貴重な話を聞くことができ、参加してよかったです。何より、少人数の塾であるため、グループディスカッションを頻繁に行えるのが良さのひとつです。また課題に対して考察力や自分の意見を持ち、それを人前で話す力をなどを、自分の意識次第でかなり伸ばすことができるのではないかと思っています。

3

地域を感じ考える「地域課題演習」始まる



COC+地域貢献特定プログラムの「地域課題演習」(全学共通系科目2年次)が昨年度から開講しました。地域を学びのフィールドとした授業で、初年度は60名が尾道市や芸高田市、山口県上関町など6つの地域に設定されたテーマに取り組み、現地での体験や学びを通して地域の現状や魅力にふれ、キャンパスでは得られない刺激を受けました。学生の地域への関心が高まり、課題に向き合う意識が生まれています。

3-1

3-2



3-3

